つばめ投資顧問

ダブル・スコープの真実

アナリストがダブル・スコープの今後を冷静に解説

経緯

- ダブル・スコープ（6619、東証プライム）が
  3営業日連続（9/16, 20, 21）ストップ安
- 信用取引を行っていた個人投資家が多いと見られ、Twitterは阿鼻叫喚
- 22日には売買成立

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

株価

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

出典：Google

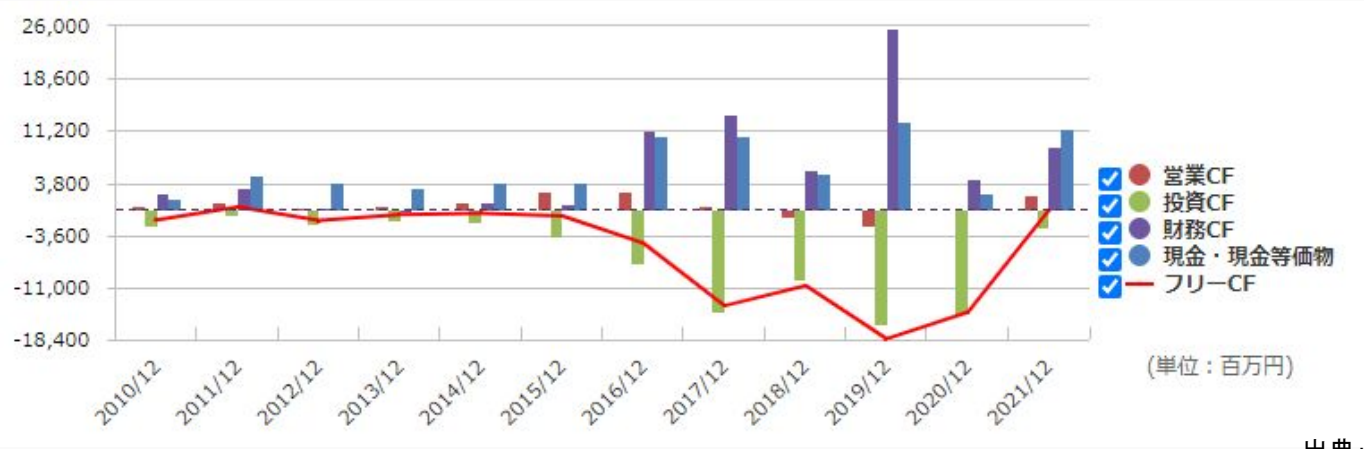
どんな会社？

- リチウムイオン二次電池用セパレータの専業メーカー
- 2005年、韓国サムスン電子出身の崔元根社長が創業
- 2011年東証マザーズ、2015年東証一部上場
- ここ数年は慢性的な赤字に苦しみ
  「**継続企業の前提に関する注記**」
- 直近で売上拡大「継続企業の～」が解消
- 2022年12月期は30億円の黒字見通し

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

通期業績推移

キャッシュ・フロー推移



出典：マネックス証券

なぜ個人投資家を駆り立てた？

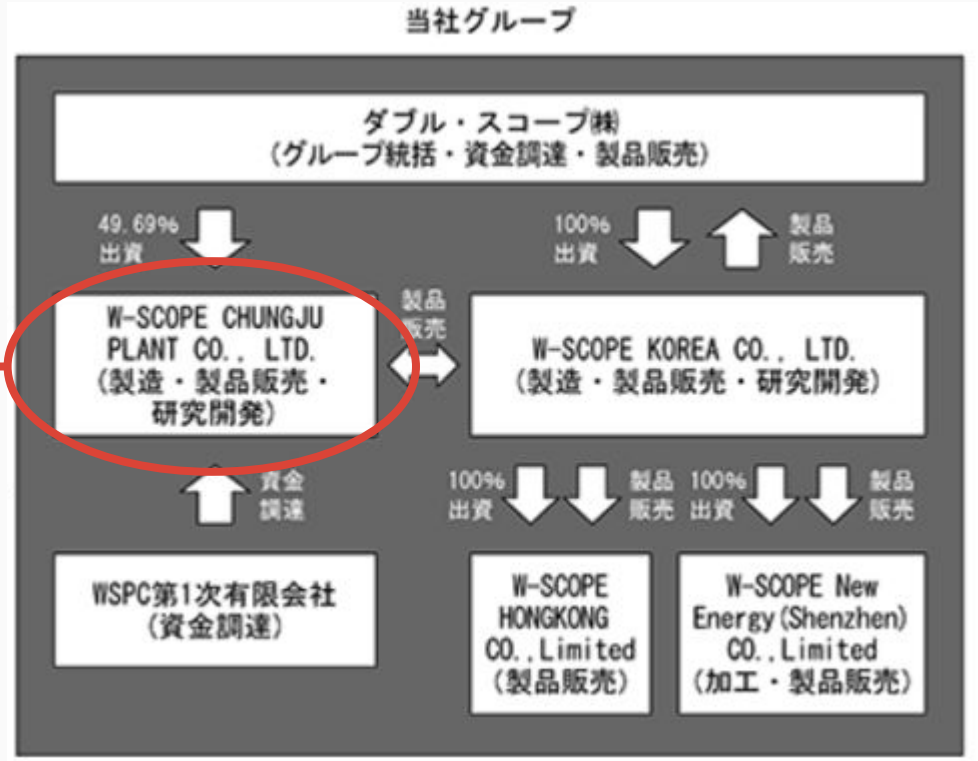
- EV市場拡大への期待
- 韓国子会社（W-SCOPECHUNGJUPLANT）上場
- SNSでの「先導者なき買い煽り」

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

韓国子会社上場

韓国上場

当初見込み
2,700～3,400
億円
↓
2,000億円



出典：有価証券報告書

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

そんなにやばいのか？

- 22日時点のダブル・スコープの時価総額は約1,000億円
- 子会社時価総額 約2,000億円 × 36% ＝ 720億円
- 上場した子会社がすべてではないので、**合理的価格の範囲**

<W-SCOPE KOREA CO., LTD.>				
主要な損益情報等	①売上高	11,972百万円	④純資産額	11,477百万円
	②経常損失（△）	△2,009百万円	⑤総資産額	24,725百万円
	③当期純損失（△）	△1,031百万円		
<W-SCOPE CHUNGJU PLANT CO., LTD.>				
主要な損益情報等	①売上高	17,807百万円	④純資産額	39,399百万円
	②経常損失（△）	△588百万円	⑤総資産額	61,174百万円
	③当期純損失（△）	△956百万円		

出典：有価証券報告書

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

ダブル・スコープの今後

- 多額の研究開発や設備投資が必要であり、
  業績の振れ幅が大きい
- 業界最後発である同社において、
  綱渡りの経営は今後も続く可能性が高い
- ただし、リチウムイオン電池の需給が逼迫する間は
  ボーナスタイムかもしれない
  （一方で、**優位性を築いているわけでもない**）

© つばめ投資顧問 All rights reserved.

個人投資家へひとこと

- 「話題になっている」というだけで飛びつくのは **愚の骨頂**
- **現物でも勝てないのに**、信用取引を行うなどもってのほか
- 他人の分析は参考にはなるが、取引するには最低限以下が必要
  - 言っている意味が**理解できること**
  - そのロジックに**納得できること**
  - **もし外れたら**どうなるか想像すること
- **想像力**が足りない人は、投資には向かない

© つばめ投資顧問 All rights reserved.